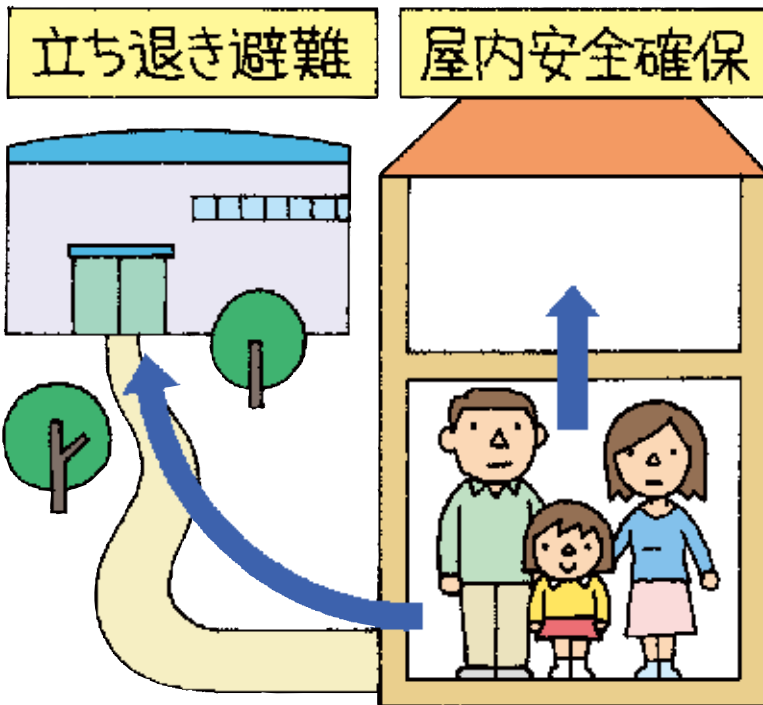


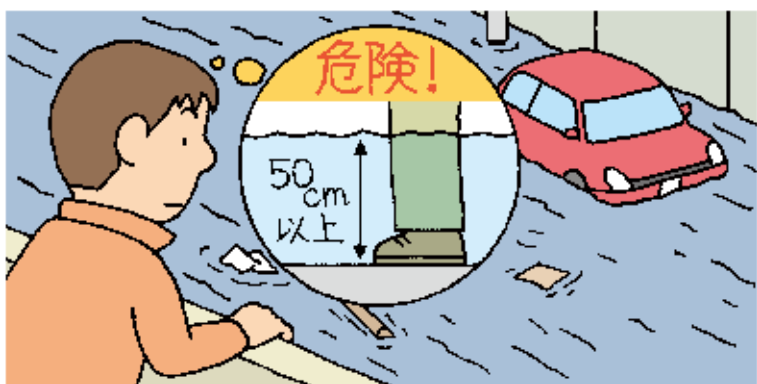
立ち退き避難と屋内安全確保

危険な状況での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険がせまっているときは、指定された避難所への移動（立ち退き避難）だけでなく、近くの安全な建物などへの避難や、屋内のより安全な場所への移動（屋内安全確保・垂直避難）が必要な場合もあります。



屋内安全確保

- 夜間や急激な雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している（50センチ以上）。
- 浸水は20センチ程度だが、水の流りがはやい。
- 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置がわからず転落のおそれがある。



外へ出ることは危険です。自宅や近くの建物の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも対策です。

浸水場所は気をつけて



- 浸水した箇所がある場合には、長い棒を使って障害物や溝、水路などに十分注意して歩きましょう。
- 危険と思ったら、無理な外出はひかえましょう。

避難するときの注意点



- 動きやすい服装と脱げにくいスニーカーなどを履いて避難しましょう。
- リュックサックなどを利用し、両手がふさがらないようにしましょう。
- こどもからは絶対に目を離さないようにしましょう。

